

# 高度画像診断機器

## ～CT・MRI～

- ✓ 迅速に検査・診断・治療が可能
- ✓ 画像診断医が在籍

当院では『動物たちと共に価値と喜び』を理念に獣医療が人の医療に近づけることを使命として診療を行ってまいりました。高度な獣医療の提供のため、CT や MRI というような高度画像診断機器を備えております。CT は高度な軟部外科の手術を行う目白通り高度医療センター、MRI は神経・整形に関する手術を行う新目白通り高度医療センターに設置されています。グループ内にこれらの画像診断機器が設置されている利点として、迅速に検査・診断・治療にあたることできることがあげられます。そのため、場合によっては担当医が必要と判断した場合、診察当日に検査することも可能となります。加えて当院に多数の画像診断医が在籍しているため、わずかな異常所見も見逃さずに診断することが可能です。腫瘍科診療に関してはもちろん、これらの検査に関するご質問がありましたらお気軽にご相談ください。

### ・画像診断医のご紹介

名前	勤務先	備考
大竹 大賀	新目白通り第2高度医療センター	JAHA 認定総合臨床医
武藤 陽信	新目白通り第2高度医療センター	獣医神経病学会所属
池田 彬人	※外部アドバイザー	第1種放射線取扱主任者
李 美侑	※外部アドバイザー	獣医画像診断学会所属



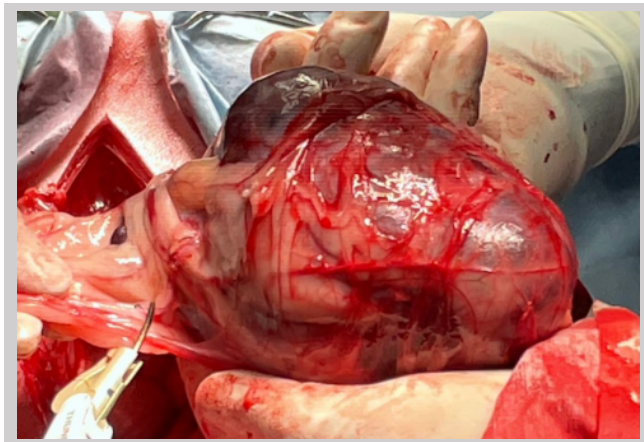
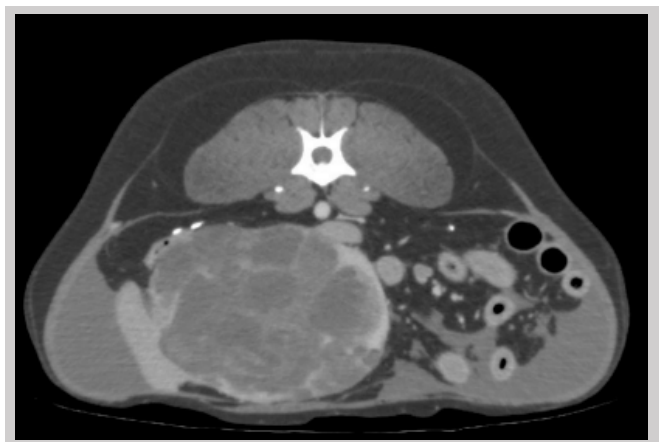
CT 画像診断装置



MRI 画像診断装置

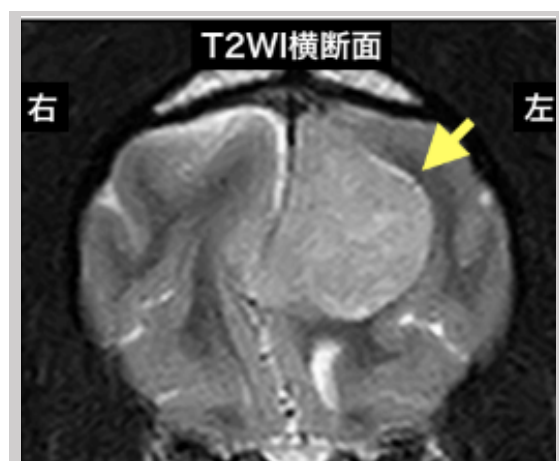
### 脾臓腫瘍の CT 画像

主に血液検査、超音波検査、X 線検査、CT 検査で診断しますが、CT 検査は悪性腫瘍の転移の有無や程度を評価するのに有用です。



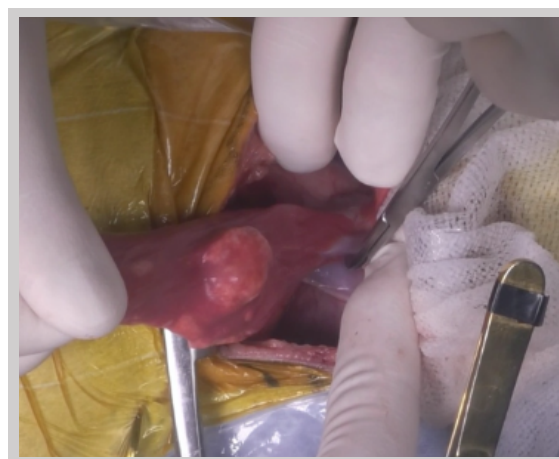
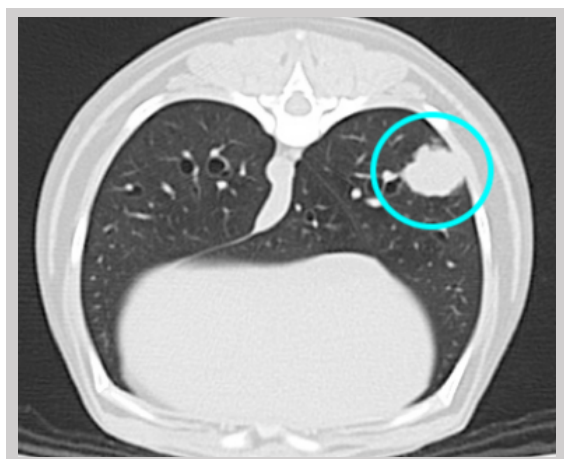
### 脳腫瘍の MRI 画像

脳脊髄検査などの検査も行いますが、確定診断のためには MRI 検査が有用であり、腫瘍の発生部位などを特定することができます。



### 肺原発性腫瘍の一例

X 線検査や生検だけでなく、腫瘍の発生部位の特定・浸潤の程度の把握、他臓器への転移を確認するために CT 撮影検査を行いました。



# 小滝橋動物病院グループ

## 腫瘍科のご紹介

### 診療科案内

医療の発展により、犬と猫の寿命は長くなっています。そのため人と同様に、動物においてもがんが増え、現在では犬猫ともに死因の第一位といわれています。大切な家族との幸せな時間をより長く過ごすため、迅速かつ的確な診断と、患者様それぞれの状態やご家族様の考え方に合わせた治療を選択していく必要があります。

小滝橋動物病院グループは、都内に7つの一次診療施設と3つの高度医療センターを有し、「身近なかかりつけ医」と「先進医療」の両立で、質の高い獣医療を提供します。グループ病院内でCT検査やMRI検査を含む各種検査が実施でき、診断から治療まで迅速な対応をすることができます。

### 腫瘍科専門医外来

当グループの麻酔科・画像診断科と連携し、CTなどの高次画像検査後、同日に手術を行うことも可能です。手術を希望される症例ではこちらの診察日をご案内ください。

要予約：電話にて承ります

診療日：毎週火曜日

担当医：杉山 大樹（獣医腫瘍科I種認定医）

### 腫瘍内科

高次画像検査に加えて細胞診や生検などの検査、がん薬物療法などの内科的治療をメインとした相談とセカンドオピニオンに対応いたします。

要予約：電話、ネット予約(アポクル)にて承ります

診療日：毎週金曜日

担当医：接待 創太

### 手術症例紹介

#### ① 血管周皮腫の犬の1例



摘出前腫瘍

手術直後の術創

犬、ウィペット、避妊雌、14歳1ヶ月。

右肩甲部の巨大な腫瘍の摘出のために来院。CT検査と腫瘍摘出手術を実施した。CT検査では明らかな転移を疑う所見は認められなかった。術後1年以上経過した現在、明らかな再発・転移もなく生存している。

#### ② 下顎扁平上皮癌の猫の1例



摘出した腫瘍と下顎骨

術後2週間の術創

症例は猫、ベンガル、避妊雌、16歳。

自宅にて下顎に腫瘍をみとめ、増大傾向であるとして来院。CT検査と左片側下顎全摘出を実施。CT検査では明らかな転移を疑う所見は認められなかった。術後数日で自力採食可能となり退院。術後1ヶ月経った現在、経過良好。

## 杉山 大樹

(すぎやま ひろき)



- ・麻布大学卒業
- ・同大学附属動物病院腫瘍科主任研修医  
特任教員(一般外科、腫瘍科等)歴任
- ・千葉市稲毛区「ファミリー動物病院」院長
- ・日本獣医がん学会副会長
- ・日本獣医がん学会認定委員会副委員長
- ・獣医腫瘍科 I 種認定医
- ・小滝橋動物病院グループ 腫瘍外科 主任

## 接待 創太

(せったい そうた)



- ・麻布大学卒業
- ・神奈川県、東京都の複数の動物病院で腫瘍科診療をおこなう
- ・日本獣医がん学会 企画委員会 委員
- ・日本獣医臨床病理学会
- ・小滝橋動物病院グループ 腫瘍内科 主任

### 学会発表

- ・肝臓の形質細胞腫の犬の1例(2018 日本獣医内科学アカデミー)
- ・形質細胞への分化を示した鼻咽頭部リンパ腫の猫の1例  
(2019 日本獣医内科学アカデミー)

### 執筆

- ・どうする? どうなる? この腫瘍～臨床に役立つ治療と予後データ集～
- ・胆管癌 VETERINARY ONCOLOGY No31 2021

## 山下 諒

(やました りょう)



- ・日本獣医生命科学大学卒業
- ・同大学の附属動物医療センター全科臨床研修 前期・後期 修了
- ・日本獣医がん学会
- ・獣医腫瘍科 II 種認定医
- ・小滝橋動物病院 目白通り高度医療センター 勤務

腫瘍科の専門外来及びCT、MRIの画像診断のご依頼は  
以下の病院にて受け付けております。  
お困りの際はいつでもご相談下さい。



**目白通り高度医療センター**  
東京都豊島区南長崎2-2-1  
Tel : 03-3565-6596



**新目白通り第2高度医療センター**  
東京都豊島区高田3-20-11  
Tel : 03-5958-5512



**動物医療センター 元麻布**  
東京都港区元麻布3-1-34  
Tel : 03-6384-5351

	目白通り 高度医療センター	新目白通り第2 高度医療センター	動物医療 センター元麻布
腫瘍科認定医Ⅰ種	○ (杉山)		
腫瘍科認定医Ⅱ種	○ (山下)		○ (磯野)
腫瘍内科・病理	○ (接待)		
CT	○ (武藤、山下、池田、李)		
MRI		○ (大竹、武藤)	

